

2006年4月4日、南マト・グロソ州アパレシーダ・ド・タボアド障害者を支える親と友の会(APAE)が運営する養護学校において、草の根・人間の安全保障無償資金協力に対する供与式が行われました。西林万寿夫総領事、エジルベルト・アパレシード・デ・ソウザ APAE 会長、フルキン同市市長、アライ同州政府労働・社会福祉局代表の他、地元を含む各地の APAE 関係者、学校関係者、児童・保護者等約 200 名が出席しました。



「日本の友達」と書いた T シャツを着て、感謝の気持ちを表す APAE 生

西林総領事は供与したマイクロバスに乗って、マイクロバスを届けるような形で式典会場に到着し、APAE 生及び関係者に熱く歓迎されたました。

記念プレート除幕後、フルキン市長は、西林総領事の同市来訪を歓迎した上で、今回の日本政府の協力を謝意を表明しました。

又、ホッシャ APAE 理事は、APAE の大きな夢であったマイクロバス購入が実現した喜びは語りつくせないが、それは生徒一人一人の笑顔に現れています。日本政府のこのような行為は、日本を偉大に感じさせる行為であると感謝しました。

更に、アライ州政府代表は、昨年 9 月のカンポ・グランデ市における我が国草の根無償による協力に引き続き今回アパレシーダ・ド・タボアド市、グロリア・デ・ドゥーラドス市にも協力頂き、南マト・グロソ州社会への協力に対し厚い謝意を表明しました。

西林総領事は、草の根無償のスキームと当館管内における当館の実績を紹介しつつ、通学用マイクロバス購入により子供達が安全に、且快適に通学できるようになったことで、学習環境が改善される意義について強調しました。



総領事による供与されたマイクロバスのステッカー除幕

○上記案件のプロフィール

案件名：

「アパレシーダ・ド・タボアド
養護学校通学用
マイクロバス購入計画」

被供与団体：

アパレシーダ・ド・タボアド・
APAE(障害者
を支える親と友の協会)

契約署名日：2005年11月3日

供与限度額：74,485ドル



供与されたマイクロバスで
APAEに向かう来賓 - 総領事、
ルフキン市長(手前のブルーシャ
ツ)、
ソウザ APAE 会長(ホワイトシャツ)

案件概要：

アパレシーダ・ド・タボアド APAE は、1985年に南マト・グロッソ州アパレシーダ・ド・タボアド市に設立された身体・知的障害者とその家族を支援する非営利団体で、現在約90名の障害者が通園しています。同団体は、12名乗りのワゴン車で生徒の送迎を行っていますが、安全上の問題や全生徒の送迎に1日何回もの運行が必要なため、生徒が始業時間に遅刻するなどの問題が発生していました。このたび、我が国の無償資金協力により、25人乗りマイクロバスを購入することで、通学バスの安全性・利便性が向上し、障害者の学習環境が大きく改善されます。